

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕 事 の 内 容	東大和元気ゆうゆうポイント事業					
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名	伊野宮 崇

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	2 - 2	-
【施策名】 高齢者保健福祉の推進	総合計画書 (ページ)	51	

予算名	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	3	老人福祉費	事業	13	老人クラブ育成事業
-----	---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------	----	----	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内在住の65歳以上の方	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内65歳以上の高齢者数(平成30年4月1日)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 高齢者の健康寿命の延伸 介護予防活動の活性化	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 登録活動数 延参加人数
	③ そのために何をしましたか。 介護予防活動に1回参加することに1ポイントを付与した。 参加者が取得したポイントについては、交換期間中に、所定のポイントごとに景品と交換を行った。 事業は、社会福祉協議会に委託した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 景品交換数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	/	22,592	22,711	/	
	成果指標	②の数値	件 人	/	52 10,332	57 38,989	/	
	目 標	②の目標値	件 人	/	/	52 10,332	57 42,887	57 42,887
		目標値設定の考え方	延参加人数を前年度実績の1割増に設定した。					
	活動指標	③の数値	件	/	372	652	/	

3 経費	事業費(実績)		円	/	3,101,492	2,725,600	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	/	2,545,492	1,905,600	
		特定財源	円	/	556,000	820,000	
		(うち受益者負担)	円	/			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	/	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人	/			
		職員人件費(再任用以外)	円	/	825,300	824,400	
職員人件費(再任用)		円	/				
事業費+人件費		円	/	3,926,792	3,550,000		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成29年12月から、高齢者の健康寿命の延伸、介護予防活動の活性化を目的に開始
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 今年度開始した事業であり、今後、参加者の増加が求められている。

仕 事 の 内 容	東大和元気ゆうゆうポイント事業				
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係	課長名 伊野宮 崇

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	景品交換場所の拡大 景品の見直し				
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	景品交換の時期について、情報提供の徹底				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	景品交換の時期に関する記事を市報に掲載した。 社会福祉協議会においても広報誌に掲載した。 チラシを作成し、手帳配布場所で同時に配布した。 社会福祉協議会の担当者が、各登録団体を訪問し、責任者にチラシを配布した。				
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題				
	景品交換場所の拡大 景品の見直し				
	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 社会福祉協議会と随時調整する。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 社会福祉協議会と調整が必要				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。